

私の「島立ち」そして、甌島に感謝

校長 下中 諭



今年度いっばいで役職定年となり校長の任を解かれることとなった。定年が延長することとなり、来年度は教諭に戻り1年を過ごし、退職となる。

昭和63年4月に初任地である中甌島の平良中学校に赴任してから、令和6年

3月に海星中学校で一区切りとなるが、甌島にこのように計8年の間、関わるのも縁であろう。

昭和63年の頃の甌島の中学校はバレーボールが盛んで、里村、上甌村、鹿島村、下甌島にある6中学校から2校が県大会へ出場できる枠を持つほど、強かった。当時、平良中学校では生徒全員が部活動に所属し、バレー部で汗を流していたが、平成の時代になり私が担任した3年生が県大会に出場したのを最後に、バレー部はなくなった。生徒数が少なくなり、チームを編成できなくなったからだ。当時は合同チームなどというものはなく、部活動自体を見直さなければならなかった。赴任当初、私は女子バレー部副顧問を1学期のみしたが、元々チーム編成もできていなかったため、当時の正顧問が個人種目でも団体種目でもできる女子卓球部へと変えた。そして、男子も卓球部へと変わり、平良中は卓球部のみの部活動となった。卓球は経験者もおらず、本土の学校との合同練習会で練習の方法等を学び、練習を重ね、川薩地区から県大会に出場できるようになった。現在、里中学校に卓球部があるのはその名残である。

また、当時の平良中は現在の海星中のように生徒が減少をしていき、複式学級となった。赴任した当初も理科、技術(1学年)、女子体育と3教科を教えていたが、複式になってからは理科、数学、技術(全学年)の3教科を教えることとなった。そして、平良中での4年が過ぎ、2校目の緑丘中(母校)へ異動した

それから、27年経ち、再び甌島の海星中へ校長として赴任した。初任、そして教師最後が甌島ということに感慨深いものを感じてはいた。しかし、コロナがまん延し始め、何もかもが制限・中止となる中で、とても不安な気持ちがあった。実際には甌島は本土と異なり、コロナの猛威がなく、比較的安心していられたのは幸いであった。ただ、様々な学校行事の制限や地域行事がなく、マスク生活の3年が過ぎてった。ようやく、4年目にしてマスクのない生活と様々な制限がなくなった。ようやく思うことができるようになったことと教師生活最後の年ということで、自分のできる限りのことをしようと思い、実践してきた。

話は変わるが、下甌島に来てから驚いたことは、大変生活が便利になったことだった。フェリーの2便体制で本土がとても近くなっていたこと、甌大橋がかかり、トンネルが通り、交通の便が良くなったこと、流通が早く、物がすぐ手に入るようになったことだった。また興味深いことに、大学で地質を専門で研究していたこともあり、鹿島地区を

中心とした地質、化石を調べることができ、かつての地学への興味がよみがえってきた。同時に調査のための山、海岸でのトレッキングが増えてきた。更に甌ミュージアムの方々との交流ができ、地学での人の広がりがあった。

この校長としての4年間は大変自分自身が充実したものであった。特に甌島で改めて生活し、知ることができたのはとても良かった。そして、最後の1年は駆け抜けるような年であった。

足掛け8年の甌島であったが、生徒たちにも地域の方々にも恵まれ、大変意義深い教師生活を送れたことがとてもうれしい。1年の定年延長が決まり、最後とはいかなかったが、ほぼ最後ということで甌島を「島立ち」していく。甌島に感謝しかない。



第46回卒業式

3月12日(火)に第46回卒業式を挙行了しました。多くの来賓・地域の方々、保護者の方々に見守られ、3年生9名一人一人に卒業証書が、校長より手渡されました。



在校生を代表して、原明朱叶さんが「先輩方と過ごした二年間。一日一日が、一つの行事が、充実していました。行事だけでなく、休み時間、廊下の端から端まで先輩方の楽しそうな笑い声が響いていました。そんな先輩方の周りには自然と後輩たちが集まり、私の思い出の中にはいつも、先輩方の姿がありました。先輩方は個性豊かで、唯一無二の存在でした。この先、

島立ち、高校入学という、新しい環境への挑戦が待っています。大きな壁と対面するときが来るかもしれません。しかし先輩方ならきっと、持ち前のエネルギーで乗り越えていけると信じています。前へ前へと強く羽ばたいてください。」と3年生への感謝の気持ちが伝わる、感動的な送辞を述べました。

次に卒業生を代表して、毛井満梨奈さんが、「私たちは、海陽中学校と統合して、初めての新生海星中学校の一年生として入学しました。最初は、お互いに緊張していたため、話せませんでした。しかし、だんだんと話せるようになり、学校一の個性の溢れたクラスになりました。統合したからこそ、新しい仲間にも出会うことができました。3年生になると、一日一日過ぎるのがとても早かったです。思い出の詰まった濃く、笑顔の絶えない一年となりました。そんな時いつもそばには、仲間というかけがえのない存在がいました。仲間と作った皆さんの思い出はこれからずっと私たちの心に残り続けるでしょう。いよいよ素晴らしい仲間と出会ったこの海星中学校を巣立つときがやってきました。困難が訪れた時には、甌島で出会えた友達、先生方、地域の皆様、そして私たちを一番近くで支えてくれた家族を思い出し、次の一歩を踏み出していきます。」と支えてくれたすべての人への感謝、そして未来を見据え



た力強い答辞で締めくくりました。

そして、本校の特色である、卒業生一人一人が「島立ちの決意」を発表しました。それぞれが家族、後輩、先生方に感謝の言葉を述べ、未来への強い決意を感じる発表でした。

最後には全校生徒で卒業合唱を行い、卒業生の成長した姿に、目頭が熱くなる感動的な卒業式となりました。

卒業生はいよいよ「島立ち」を迎えます。魅力ある甌島での生活で学んだことを胸に、大きく羽ばたいてください。みなさんの活躍をずっと応援しています。



甌島ツーリズム日常マップ町歩き

3月18日(月)に1・2年生で一日遠足を実施しました。昨年に引き続き、市観光物産課の甌島ツーリズムの事業で、日常マップを活用した町歩きをしました。今年度は里地域以外に鹿島地域を入れ、地元のガイドさんや甌ミュージアムの職員の方々の案内のもと散策しました。歴史的建造物や神社等を周り、甌島の歴史について学ぶ機会となりました。また、令和7年4月完成予定の甌ミュージアム内も見学でき、恐竜の化石など実際に見ることもできました。

給食は鹿島小で摂り、昼休みは鹿島小児童とともに遊ぶなど、交流を深めることもできました。

同じ甌島とはいえ、実際に歩きながら学ぶのは初めての生徒も多く、真剣な面持ちでガイドさんの説明に聞き入っていました。今回の町歩きを通して、甌島への理解がさらに深まる良い機会となりました。



月	日	曜	主な行事予定(変更の可能性があります)
4	8	月	新任式 始業式 第47回入学式 薩摩川内いじめのない学校づくりの日
	9	火	標準学力検査~10日 学校生活オリエンテーション 生徒会対面式
	10	水	身体測定 視力・聴力検査
	11	木	第5回PTA理事会
	12	金	PTA歓迎会(長浜コミ:18:30~)
	15	月	いじめを考える週間~19日 家庭生活・生活リズムチェック週間~21日
	17	水	尿検査(一次)
	18	木	全国学力・学習状況調査(3年生) 授業参観 PTA総会 全体・学級PTA PTA専門部会
	23	火	交通安全教室
	24	水	尿検査(脱漏者)
	25	木	内科・結核・運動検診 心臓健診(1年生)
	26	金	生徒総会